

石川自治センター だより



第153号

発行所：石川自治センター

 発行者：石川自治センター長 矢内陽介
〒963-7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX 同)

地域自治協議会設立準備説明会

4日(木)地域自治協議会設立に係わる説明会をモトガツコで行われた。各種団体関係者30名の方々に出席を依頼し説明会を行った。挨拶では、矢内センター長より「自治協議会設立において現在の活動内容等が変わらない。設立により横の繋がりが話し合いが出来る、活動がやり易くなる」。佐藤企画商工課長からは、「協働の町づくり他、住民主体の持続可能な体制作り、行政区、自治協議会づくりに努力してまいります。説明会でイメージを掴んで頂き、疑問を提示してください。」と述べ



た。説明会は、緑川企画係長より(1)石川自治協議会設立に向けた概要説明。(2)石川自治協議会の組織図(イメージ)他について説明が行われた。(1)石川地区の概要説明は、初めに、人口減少(石川地区人口令和3年約5200人)により地域活動(防災、福祉、防犯、教育等)でなくなる。少子高齢化のなか、協議会で話し合い。地域の課題や問題を提示し解決策を皆で考え、解決する為の協議の場として、地域住民により自主的に設置される組織であること。(2)組織図について、構成メンバーは、石川地区区長会、各部会、自治協議会長、事務局員他。部会事業(まちづくり、生活安全、福祉、教育部会等及び全体事業)は、予算の精査と承認は協議会・部会役員、学識経験者等で構成される。協議会設立で考えられることは、①区長のあて職を極力減らす。②一人1役(同じ人への役職の重複を減らす)③高齢化と人口減少対策(類似組織を統一し区助成金の出先を減らす)④各団体がそれぞれに開いている総会を各部会ごとに減らす。意見交換では、初めての説明会でもあり

みんなのまちなか朝市26回開催で終了

まちなか朝市(山田達也は、27日令和3年度まちなか朝市最終回を迎えた。2年振りに5月中旬に(22日第1回)スタートした。昨年に続き新型コロナ感染症対策を講じて、オープニングセレモニー、イベント等中止を案内し、小雨の中9店舗が出店、お客様も80人程度と静かなスタートとなった。2回以降は、毎回約110人前後のお客様で賑わった。9月18日は、台風14号の暴風雨予報により令和元年10月12日以来2回目の中止とした。最終日に切餅のプレゼントを実施。今年も多くのお客様や開店準備ボランティアの方々にお世話になりました。ありがとうございました。



参加へ戸惑いの意見や長寿会の継続危機他の課題等も見えてきた。設立への期待と思われるご意見等もいただきました。

健康増進ノルディックウォーキング教室開催へ

いきいき健康増進事業(ノルディックウォーキング)で健康寿命を延ばそう、昨年11月14日から始まったノルディックウォーキング教室を、新型コロナウイルス感染減少傾向にあること、野外での活動であることを考慮し、13日中谷自治センターで昨年度参加者が出席し開催、今出川溪谷(写真上)沿い6kmコースを散策した。20日からは、初心者コース教室が沢田自治センターで始まった。石川地区からは、初心者コースに2名(久保木・三瓶さん)が参加した。講師に皆川氏、サポートとして役場鈴木氏が参加した。座学、基本歩行訓練(写真下)等に真剣に取り組んでいました。



文化祭へ4レディース展示



生涯学習活動のレディース・スクール4学級(きたす・猫啼・外楨・新田)が揃って3年振りに町文化祭展示(モトガッコ10月30日(11月1日)を行った。例年移動研修等で作品を制作、展示していたが、コロナ禍他の為、各スクールは、自主学習を行い展示作品制作に励んだ。又、未発表の作品を展示した。

作品展示は、レディースきたす(竹島君委員長)は、アロマワックスサシェ(火をつかわないキャンドル)額とB0Xの2種類20点、アンスリウム染め絹のスクarf9点、お地藏様10点を展示した。猫啼(小豆畑ケイ子委員長)は、ハワイアンコードで作る。キラキラトートバック15点、籠1点、ラッピングペーパー8点、日光彫9点を展示した。外楨(水野昭子委員長)は、800度窯で焼くポーセラーツカップ11点、ティーポット2点、プレート7点を展示した。新田(鈴木京子委員長)は、花かご(籐)に飾りつけをした作品12点を展示した。各スクールは展示にも女性ならではの感性と工夫

で、お客様の目を引く展示がされていた。学級生の皆さんがコロナが収束し移動研修等で楽しく作品制作が出来る日を待ち望みます。作品制作、展示お疲れ様でした。



美味しく頂きました。

新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は、18日新田ふれあいセンターで恒例となった「新田・新そばまつり」を31名が参加して行った。例年、新田ふれあいセンター脇の畑で栽培、収穫されたそば粉を使用していたが、今年は、作付け時の天候不順の影響で不作となり代替えのそば粉を使用した。新型コロナ感染症対策の為、学級生のソバ打ち体験は行いませんでした。

た。試食会では、皆さんでそばを美味しく頂きました。学習会は、石川蕎麦同好会の近内雅幸さん(塩沢区)川西正昭さん(荒町区)。役員の皆様に大変お世話になり、ありがとうございます。

石川寿大学(鈴木芳幸委員長)

は、16日猪苗代、喜多方方面へ移動研修を行った。31名(女性26名・男性5名)が参加した。学級生の教養の向上と健康増進を兼ねて行った。猪苗代「土津(はねつ)神社」では、急な階段を登り境内の神社に参拝する元気な姿があった。喜多方「熊野神社長床」では、宝物殿で、長床の歴史等を学び、足腰が良くなるようにと木造文殊菩薩騎獅像を潜ってきた。大イチョウの下で長床をバックに記念撮影も行った。移動研修の楽しみでもある昼食は、山都町で新そばを堪能した。天気にも恵まれ学級生にとって楽しい一日となりました。



12月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行 事 予 定	備 考
2	木	自治協議会第1回設立準備委員会 18:30	モトガッコ
7	木	レディース新田閉講式 19:00	新田ふれあいセンター
9	火	レディースきたす閉講式 19:00	石川自治センター
14	火	レディース外楨閉講式 19:00	王子平集会所
16	木	新田寿健康大学学習会 9:30	新田ふれあいセンター
21	火	石川寿大学学習会 9:30	石川自治センター
23	木	レディース猫啼学習会 19:00	西田屋
28	火	仕事納め 12/29日~1/3休館	石川自治センター

レディース新田(鈴木京子委員長)は、3日2年振り移動研修を裏磐梯方面へ11名が参加して行った。コロナ禍でのストレスや体力の低下を踏まえ健康促進を目的に、五色沼ハイキングコース4キロ散策。磐梯山噴火記念館では、噴火災害や防災対策等を学んだ。

